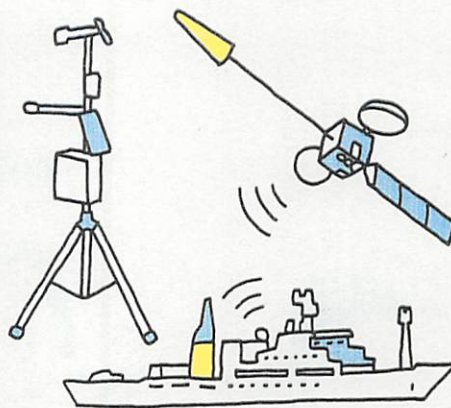




横浜国立大
教育人間科学部 准教授
専門:気象学

筆保弘徳先生

気象学



最新の技術と研究で 空の現象が 次々と明らかに

どうして台風は生まれるのか?ゲリラ豪雨はどこで発生するか?実は今でも、解き明かされていない空の現象はたくさんあります。そのメカニズムを理解し、より精度の高い天気予報で災害を防ぐ。そのために今でも気象学の研究は盛んに行われています。欠かせないのは、空の観測。大型の気象観測船や最新の人工衛星など現代の科学技術を駆使して、細かい空の様子までわかるようになってきました。こうして収集した

観測データを使って、パソコン上につくったバーチャルな地球でシミュレーションします。この山脈を削りつつたら台風にどんな影響がある...?など、現実の世界ではできない実験もバーチャル実験なら可能。このように、条件を変えて大気現象がどうやって発生するか、発達するのかを突き止め、予報の精度を高めていくのです。

もっと知りたい人は...

筆保弘徳 編著
『天気と気象について
わかっていること知らないこと
—ようこそ、その研究室へ—
(ベレ出版)』

目のつけどころで キミの未来予測も 変わる

なぜ天気を
予報できるのか?

地球全体を見てみるか。空の現象に注目するか。予報を可能にする技術から考えるか。毎日目にする天気予報も、様々な学問の知識と技術の結晶だ。何気なく触れている情報や技術は、どんな学問のチカラでできているのか?そんな目で周りを見てみると、キミの未来も大きく変わるかもしれない。

次号のギモンは
「なぜ人は
『美しい』と
感じるのか?」
お楽しみに!

す方程式を使って予測していくのです。各

両輪で、天気予報の精度は上がっているのです。

もっと知りたい人

岩崎俊樹
『数値予報
を利用した
(共立出版)』